

参加者の声

- ☆ 同じような境遇の人と繋がれて、悩みの共有できる仲間がいることに安心した。
- ☆ 実際に義務年限中に出産・育児を経験された諸先輩方の話を含め、
研修医～ベテラン医師まで様々な立場の人から沢山の体験談を聞いて心強く思った。
- ☆ キャリアについて多様な意見が聞けた。
- ☆ 男性医師の話をもっと聞きたい！
- ☆ 産休・育休を取ってもよいと思えるようになった。
- ☆ 学生間では曖昧なまま終わるようなテーマでも体験談を具体的に話していただき、
本当に参考になった。
- ☆ お子さまも一緒に参加されていたり、おともがあったりと、このような話題をしやすい
空気感がとても素敵だった。このように気兼ねなく参加でき、似たような状況にある方
と知り合っ情報交換できる機会は個人で設定するのは難しいと思うので、
素敵な取り組みだと感じた。

連絡先：神戸大学大学院医学研究科 地域医療教育学部門

〒652-0032 兵庫県神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 神戸大学医学部附属地域医療活性化センター

TEL 078-382-6732 URL <http://www.med.kobe-u.ac.jp/dcme/>

MenJoyプロジェクト 2022

(第6回兵庫県の地域医療を担う医師・医学生のための男女共同参画研修会)

【主催】

公益社団法人 地域医療振興協会 兵庫県支部
神戸大学大学院医学研究科 地域医療教育学部門
神戸大学大学院医学研究科 キャリア形成卒後支援ユニット

日時：令和4年12月4日（土）15時00分～17時00分
場所：オンライン開催（zoomミーティング）

活動報告書



We are all looking for the best future

地域には地域の課題がある。

挨拶

MenJoyプロジェクトは2017年から始まり、今年で6年目となります。2018年6月には働き方改革関連法案が可決されました。しかし、厚生労働省の「医師の働き方改革に関する検討会」ではまだまだ課題が山積みです。働き方はまさしく現場の問題です。地域で勤務している、または将来勤務する医師・医学生自身が、働き方を見つめ直し、共に議論する場が必要と考えています。

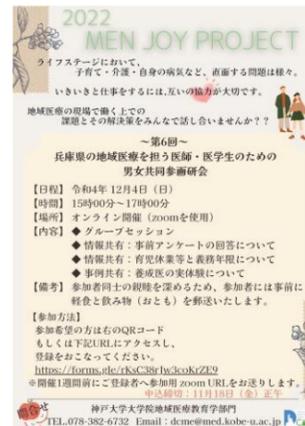
MenJoyプロジェクトの目的

各ライフステージにおいて、結婚・子育て・介護・自身の病気など様々な問題に直面します。いきいきと仕事をしてキャリアを豊かにしていくためには、男女お互いの協力が大切です。地域医療の現場で働く上での課題や悩みを共有し、その解決策について議論します。

※ MenJoyとは：男性医師(Men)と女性医師(Joy)が共に
楽しみ(enjoy)ながら働くことを意味した
造語です。

MenJoyプロジェクト2022の概要

- 14：30 受付開始
- 15：00 開会挨拶
- 15：05 兵庫県養成医師制度における産休育休制度関連規約の紹介
- 15：10 事前アンケート（キャリアやワークライフバランスに関して）回答の共有
- 15：20 事例共有
- 15：50 グループセッションの注意点
- 15：55 グループセッション①
『産休育休制度～どう休む？どう休ませる？みんなが納得のいく休み方とは～』
- 16：25 グループセッション②
『キャリアのあれこれ～どんな夢を持っていますか？どう育みますか？～』
- 16：55 閉会挨拶
- 17：00 写真撮影、終了



情報共有

今年は①兵庫県養成医師制度における産休育休制度関連規約 ②事前アンケートの回答の共有に加えて、より具体的に現場の状況を共有してもらったり、将来のイメージを描きやすくなるきっかけになればと③養成医2名の事例共有も行いました。①に関しては、産前・産後休暇は義務年限に含まれますが、育児休業は義務年限に含まれません。義務年限を延長せずに短時間勤務した事例も踏まえて、ワークライフバランスを考える上で規約の把握は重要であり、情報共有しました。②に関して、15名の先生方からご回答をいただきました。悩みの共有だけでなく、その具体的な解決策についても提示してもらったり、参考になったかと思えます。③に関して、「男性医師による育児休業・短時間勤務の事例」と「女性医師による産前・産後休暇のみを利用した事例」を共有してもらいました。実際のところの苦労話や良かった事を聞いただけでなく、派遣先の病院の環境についてもイメージが湧いて、より現実的にワークライフバランスを考えるきっかけに繋がったのではないかと思います。特に男性医師による育児休業は今まで前例がなく、今後男性医師も育児休業や短時間勤務をすることが当たり前になるように積極的に制度を利用して事例を増やしていきたいと男性医師からの声もありました。また小病院に派遣されていても、周囲の派遣先の病院と連携して制度が利用しやすくなるような体制づくりも今後の課題として挙がりました。

グループセッション

zoomミーティングのブレイクアウトルーム機能を用い、1グループ5人程度と、意見交換しやすい小グループに分かれてディスカッションしました。悩みを共有しあえる仲間関係を広げること、様々なキャリアの形があることを知ること、自発性や主体性をもってキャリアや働き方考える態度を醸成することなどを目標に、25分と長めの時間設定で2回のグループセッションを行いました。各グループともリラックスした雰囲気の中意見交換し、関係性を深めることができました。『どう休むのか、どう休ませるのか』というテーマでは、昨今働き方改革が叫ばれていることもあり、皆が当たり前に取り入れる雰囲気を作っていくこと、その為には今回の男性医師のように、積極的に事例を作っていくことが必要だろうという意見が出ました。事例を踏まえることで課題を明らかにし、具体的な解決策を主体的に考えていくことが今後の鍵になりそうです。『キャリアのあれこれ』では、ライフバランスも取りつつ働く方法に興味を持っている医学生・研修医が先輩医師に相談している姿が多く見られました。養成医として色々な病院に派遣され、様々な経験を積みつつ、その時々で何をどう優先して働いていくのか実体験が沢山聞けたと思います。どのグループも非常に盛り上がり、実り多い50分間になったと思います。今回は総勢23名の参加がありました。今後も男女ともに参加者が増え、より活発な会になることが望まれます。